

## NPO法人日本皮革技術協会

### 東京で環境対応革の実用化報告会開く

——環境と人に優しい革をテーマに11の発表・2講演

皮革に関するわが国唯一の研究団体であるNPO日本皮革技術協会（姫路市、野村義宏理事長）が、1月18日、東京・神田で環境対応革開発実用化事業報告会（第62回皮革研究発表会）を開催した。環境と人に優しい革の開発と実用化に向けた研究発表の場に専門家・研究者40名が参加した。

#### 環境と人に優しい「研究



専門家・研究者40名が出席した

報告発表会では、「6価クロム生成抑制クロム革の製造技術および特性」「消費者苦情と販売後の革ホルムアルデヒド変化について」「ピツクル不要で鞣し可能な新規鞣剤に関する研究」など11の研究のほか、講演「ヨーロッパ汚水処理施設視察報告」が行われ、最後に日本エコツーリズム共同代表の森高一氏が「皮革産業と持続可能性」のテーマで特別講演を行った。



吉村圭司副理事長



野村義宏理事長

った。

#### 「持続可能性」は重要テーマ

「特別講演のテーマである『持続可能性（サステナビリティ）』は、環境・社会・経済の3つが調和し、持続的に発展すること。世界の皮革業界では盛んに議

論されており、日本の皮革産業においても避けては通れないテーマ。森氏にはツーリズムの立場から分かりやすく語っていただきたい」（吉村圭司副理事長）。

▽NPO法人日本皮革技術協会  
/兵庫県姫路市豊沢町129  
あさひビル4階

☎079・284・5899